

小・中学校における 租税教育指導事例集

平成 25 年 3 月

登米市租税教育推進協議会

極めて有効な税の教科書として

「平成24年度租税教育指導事例集」の発刊に当たり、一言申し上げます。

本年度は、平成21年に誕生した民主党政権が、3年余りの政治運営に幕を降ろし、自由民主党へと、その座が移行した変革の年となりました。

野田民主党政権時に消費税の増税法案が成立しましたが、安倍自民党首相は、食料品などの生活必需品の税率を低くする軽減税率について、2014年4月の8%引き上げ段階からの導入を見送り、2015年10月の10%引き上げ段階での導入を目指すことで、公明党と合意したと報道されています。消費税は、私たちの生活に直接結び付く税であり、国民の間でも大きな関心事として、様々な議論が交わされています。

このような状況の中、税金が私たちの生活に果たす役割やその必要性を学ぶ租税教育は、非常に重要であり、その内容、指導のあり方を様々な事例で紹介する本書は、極めて有効な税の教科書であると認識をしているところでございます。

本年度は小学校8校、中学校2校の実践事例が紹介されていますが、いずれの学校でも、小・中学生の段階から税を理解させるため、さまざまな工夫を凝らしながら取り組んでおり、今後の教育活動にも大いに参考になるものであります。各学校においてもぜひ取り入れていただきたいものだと考えております。

とかく税金は納めるまでは関心が持たれますが、その後の使われ方などについては、詳しく知る機会はそう多くはないと思われれます。そうした意味でも、租税教育活動におけるこの指導事例集は、我々にとっても、日常生活の中に欠くことのできない税を知り、役割の重要性と意義を改めて考えるきっかけとなるものと期待するものでございます。

最後になりますが、登米市租税教育推進協議会の運営と、今回の研究取りまとめに当たっていただいた佐沼税務署の皆様のご尽力、さらには各教育現場の諸先生方のご努力とご支援に、心から感謝を申し上げ、本書発刊に際してのあいさつとさせていただきます。

平成25年3月

登米市租税教育推進協議会会長
登米市教育委員会 教育長

片倉 敏明

目 次

小学校指導事例

① 第6学年	佐沼小学校 教諭 関根大悟	1
② 第6学年	森小学校 教諭 後藤智子	5
③ 第6学年	錦織小学校 教諭 芳賀明洋	8
④ 第6学年	加賀野小学校 教諭 加藤めぐみ	14
⑤ 第6学年	浅水小学校 教諭 山田紀子	19
⑥ 第6学年	米岡小学校 教諭 佐藤正彦	23
⑦ 第4学年	南方小学校 教諭 大槻征玄	28
⑧ 第6学年	東郷小学校 教諭 後藤大典	34

中学校指導事例

① 社会科	東和中学校 教諭 藤浦悟	37
② 社会科	石越中学校 講師 伊藤圭	40

平成 24 年度 租税教育実践事例（第 6 学年社会科）

登米市立佐沼小学校

教 諭 関根 大悟

1 単元名 社会科「わたしたちの生活と政治」

小単元名「わたしたちの願いを実現する政治」

2 指導にあたって

(1) 単元について

本単元は学習指導要領の内容（２）「国民生活には地方公共団体や国の政治の働きが反映していること」を受け構成されている。

単元の構成にあたっては、「地方公共団体や国の政治の働き」と「日本国憲法の基本的な考え」の２つに分けられて、具体的な公共施設が造られる例を取り上げ、住民の願いや思いが実現されていく過程を知ることや、それらは日本国憲法の下で造られていることに気付かせていく。

また、国民の生活と政治の結び付きについて関心をもたせ、その中で税金の果たす役割について理解することもねらいとする。

(2) 児童の実態（男 15 名 女 17 名 計 32 名）

単元の前に児童に「税金」について尋ねてみた。「知っている税金は？」の問いには「消費税」という答えが返ってきた。「消費税」という言葉については全児童が知っていた。他にも「所得税」「固定資産税」「自動車税」という答えがそれぞれ 1 名ずつの児童から返ってきた。次に「自分も税金を払っているか？」の問いには、迷いながら 3 名が手を挙げた。「税金は必要か」という問いには、「いらぬ」と答えた児童が 25 名、「分からない」と答えた児童が 4 名、「いる」と答えた児童が 3 名いた。それぞれ理由を尋ねてみると、「いらぬ」と答えた児童は、「今度、消費税が 10% に上がるから」「100 円のものが 105 円になるから」など消費税に関する答えがほとんどだった。「分からない」と答えた児童は、「税金がなくなると、なにか困る気がする。」「なんとなく。」という答えだった。「いる」と答えた児童は、「みんなのために使うものだから」という答えだった。また、消費税が 10% に上がることを知っており、「なぜ上がるのだろう」「上がった分はどうするのかな」など税金について興味を持っている様子であった。

この学習を通して、税金についての正しい理解を深め、納税者としての意識を育てていきたい。

(3) 指導にあたって

児童の税金に対する実態をふまえて、以下のような点に留意して指導にあたりたい。

《身近な公共施設について》

佐沼小学校の新校舎を建設しており、児童にとっては身近なものである。子育て支援施設ソーレと並行して、佐沼小学校新校舎を取り上げる。ただ、まだ中に入れないので、写真を使い中の様子を説明をした。また、児童は建設の段階から見るので、そこから公共施設に対して興味・関心を高め、施設ができるまでの過程を考えさせながら政治の働きについても着目させたい。

《補助資料「わたしたちの暮らしと税金」とインターネットの活用》

国税庁のホームページより、「マリンとヤマトの不思議な日曜日」のアニメを使って税金の大切さや「わたしたちの暮らしと税金」を使って税金の使われ方について気付かせていきたい。

3 指導計画（10時間扱い 本時5／10）

時	○おもな学習活動 ・ 内容	◆指導上の留意点
1	○子育て支援センターの見学 ・子育て支援センターを見学し、利用者にインタビューして、幼い子どもをもつ親の願いについて話し合う。 ※佐沼小学校新校舎についても触れる。	◆子育て支援センターで行っている活動の様子やアンケートの結果から、利用者の願いについて考えさせる。
2	○ソーレの活動 ・子育て支援センターを見学したり、所長さんの話を聞いたりして、どんな目的で、どんな活動が行われているのかを調べる。 ※佐沼小学校新校舎についても触れる。	◆子育て支援センターで行われている、様々な活動の目的について考えさせる。
3	○住みよいまちを目指して ・市役所や市議会を見学したり、市役所の人話を聞いたりして、市役所や市議会の働きについて調べる。	◆子育て支援センターの活動が始められた経過について、市役所や市議会の働きと関連付けて調べさせる。
4	○税金の働きを調べる ・子育て支援センターを建設したり、運営したりするための費用がどこから出ているのか、収集した資料をもとに調べる。 ※佐沼小学校新校舎建設にも触れる。	◆子育て支援センターにかかる費用をもとに、税金が重要な役割を果たしていることについて気付かせる。
5 本時	○税金について考える ・今まで学習してきたことをもとに、税金がなくなったらどのようなになってしまうのか、税金はなぜ必要なのかを考える。	◆税金はみんなのために使われているので、みんなから集めているということに気付かせる。
6	○国の政治1－国会の働き ・国会や選挙に関する資料を収集して調べ、国会のしくみや働き、選挙の役割について、分かったことや考えたことを話し合う。	◆国会の働きや選挙の役割について、国民の願いとの関係で調べさせる。

7	○国の政治2－内閣の働き ・内閣に関する資料を収集して調べ、内閣のしくみや働きについて、わかったことや考えたことを話し合う。	◆内閣のしくみや働きについて、国民の願いとの関係で調べさせる。
8	○国の政治3－裁判所の働き ・裁判所に関する資料を収集して調べ、裁判所の働きについて、わかったことや考えたことを話し合う。	◆裁判所の働きについて、国民の権利との関係で調べさせる。
9	○もっといろいろ調べてみよう ・東松山市で行われている、さまざまな福祉事業について、収集した資料をもとに調べる。	◆東松山市の福祉事業について、グループや個人で調べさせる。
10	○まちづくりにわたしたちの声を生かそう ・学習したことをもとに、みんなの願いを生かした公園をつくるために、どのようなことに配慮したらよいかを話し合う。	◆子どもやお年寄りなど、いろいろな人が公園に対してどのような願いをもっているかを考えさせる。
	○国民の祝日について考えよう ・国会でつくった法律によって定められた国民の祝日について、話し合う。	◆それぞれの祝日について、設けられた意義について考えさせる。

4 本時の学習

(1) ねらい

税金の働きや目的について知り、税金は公共のために使われ、必要なものであるので、税金という形で国民などから集められていることを理解する。

(2) 準備物

「マリンとヤマトの不思議な日曜日」（インターネット資料・国税庁ホームページより）

「わたしたちのくらしと税金」（租税教育用副教材・宮城県租税教育推進協議会等より）

(3) 学習過程

段階	学習過程	学習の様子
つかむ	1 前時までの学習を振り返る	・佐沼小学校の新校舎建設や警察署や消防署には、税金が使われていることや消費税などの税金を払っていることなどを発表した。
	2 本時の課題を知る	もし、税金がなくなったらどうなってしまうのだろう？
	3 どんなことが困るのか予想する	・「消費税がなくなる」「税金を払わなくてよくなる」「佐沼小学校の新校舎が建たない？」「おまわりさんがいなくなる」などの意見が出た。

調べる	<p>4 ビデオ教材を見る 「マリンとヤマトの不思議な日曜日」を流す。</p> <p>5 予想とビデオの内容を比べ、自分たちの生活と税金のかかわりについて考える。</p> <p>6 学校と税金のかかわりについて考える 「税金がなくなると、学校に払う月謝はいくらになるとおもいますか？」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「わたしたちのくらしと税金」を使って確認する。 「約七万円から八万円です。」 	<ul style="list-style-type: none"> ・あとで感想を発表することを告げたので、メモをしながら見ている子供もいた。 ・「道路を通行するのもお金を払わなければいけないとは思わなかった。」 「交番が会社みたいになっていて、道案内にお金を払うなんて大変だと思った。」 「こんなにいろいろな所に税金が使われていて驚いた。」 ・「塾の月謝と同じくらいかな？」 「一万円？」 「5000円」などいろいろな金額が出された。 ・驚きの声が上がった。ほとんどの子どもがそんなに高いとは想像していなかった。
まとめる	7 本時の学習を振り返りまとめる	

5 主な児童の感想

わたしははじめ、税金なんかなければよいのにと感じていました。今日、勉強して税金はみんなのために使われていることが分かり、大事なものだということが分かりました。これからはしっかり税金を払っていきたいと思いました。

税金は必要だということは知っていました。でも、なぜ必要かということがビデオを見てよく分かりました。

生活のいろいろな所に税金が使われているなんて知りませんでした。税金がなくなるといろいろな場面でお金を払わなければならないので税金は必要だと思いました。

学校の月謝が約7万円というのが驚きました。また、教科書や学校にある多くのものに税金が使われていることを知りました。

1. はじめに

今、我々が生きる社会を安定して持続させているシステムとして税制がある。武士の世では、年貢という形の税が農民に課せられ、幕藩体制を支えていたことがわかる。民主主義の現代にあっては、収入や財産等に応じて課税することで社会を維持している。教育基本法には「教育は、人格の完成をめざし、平和的な国家及び社会の形成者として、真理と正義を愛し、個人の価値をたっぴ、勤労と責任を重んじ、自主的精神に充ちた心身ともに健康な国民の育成を期して行われなければならない。」とある。税について学ぶことは、国民としての基礎的な知識を得ることであると考える。

2. 指導の方向

- (1) 「日本の歴史」を学ぶ中で、その社会を維持・発展させるために行われてきた「税」をおさえさせる。
- (2) 「わたしたちの生活と政治」では、憲法学習の中の「国民の権利と義務」の学習の中で直接的に税金について義務があることを学ぶ。なぜそうした義務があるかも大まかにとらえさせる。
- (3) 税務署の職員にゲストティーチャーとなってもらい、税の持つ意味、大切さを明確にとらえさせる。

3. 指導の実際

- (1) 「日本の歴史」において（東京書籍の教科書において）おさえさせた語句や内容
 - 「天皇中心の国作り」
 - (P30) (資料) 人々の負担「 租 調 庸 」
 - 「武士の世の中」
 - (P 71) (資料) 秀吉が出した刀狩り令 「 年貢 」
 - (P 77) (本文) 「収穫の半分にもなる重い年貢」
 - (P 79) (本文) 「重い年貢の取り立て」
 - (P 97) (資料) 渋染一揆 「 年貢を納める 」
 - (P105) (本文) 「地租改正」
 - (資料) 明治政府の諸政策 「土地の価格の3%を現金で納める」
- (2) 「わたしたちの生活と政治」において おさえさせた語句や内容
 - (P 10) (本文) 「税金の働きを調べる」
 - (P 31) (資料) 「国民の義務」

(3) 税務署員をゲストティーチャーに迎えた税の学習

① みんなの知っている税金にはどんなのがある？ 税金の種類



② 宝くじの当選者には税金がかかる？



③ 税金を進んで払いたい？ 6人中 5名が微妙



④ DVD「マリンとヤマトの不思議な日曜日」の視聴

税金が無くなる世界を体験し税金の大切さを楽しく感得させた。

⑤ 税金が無ければ学校で勉強するのに、どれだけのお金がかかるか？ 月7万

⑥ 税金が何に使われるか確認



⑦ 1億円の量と重さを体感し，高額な金額に実感をもつ。



⑧ 感想発表

どの児童も税金の大切さを納得し，進んで納税の義務を負う旨を話した。

4. 実践を終えて

- (1) 歴史学習の視点としてよりよい社会のしくみを考えるために「税」を意識して取り上げておくことは，租税教育を進めるうえでも大切なことと思われる。
- (2) ゲストティーチャーは，子どもたちにとって印象深い授業であった。
- (3) ゲストティーチャーを迎えての租税教育のタイミングは「税金の働きを調べる」時期に合わせて行うことも良いと思われる。スパイラルな指導が行われることで理解が深まると考えたので本実践では前述のタイミングで行った。
- (4) 「日本とつながりの深い国々」の学習において，可能な限りそれぞれが取り上げた国の税の様子を調べさせるのも意義があることと思う。

平成24年度 租税教育指導実践例（第6学年）

登米市立錦織小学校

教諭 芳賀 明洋

1 単元名 わたしたちの願いを実現する政治 ―税金の働きを調べる―

2 指導にあたって

(1) 単元について

本単元は、新学習指導要領の(2)を受けて設定されている。学習内容として、身近な公共施設の建設、地域開発、災害復旧の取り組み、そして、それに伴う議会の働き、税金の働き、さらに国会の働きの学習を通して公共の事業がわたしたちの願いを実現する目的で行われていることを考えさせようとしている。税金については、わたしたちの安全で豊かな生活が国民の納めた税金から成り立っていることから、税について関心をもたせ、集められ方や利用の仕方などの学習を通して、政治の働きと税金の関係について理解を深めることをねらいとしている。

日本国憲法には、「国民は、法律の定めるところにより納税の義務を負う。」と明記されている。税金は、国の財政を賄う収入の最も主要なものであり、私たちが健康で心豊かに送るために、大切な役割を果たすお金であることに気付かせたい。

(2) 児童の実態（男4名 女12名 計16名）

租税教育を行うにあたり、税金（税）について下記の内容でアンケート調査を実施した。

（平成24年11月20日実施）

- | | |
|---|-------------------------------------|
| 1 | 「税金（税）」という言葉を知っていますか。 |
| | ・知っている 16名 |
| | ・知らない 0名 |
| 2 | 「税金」には、どんな種類があると思いますか。（複数回答可） |
| | ・消費税 8名 ・納税 1名 ・食費税 1名 ・印税 1名 |
| | ・国民税 1名 ・関税 1名 ・補助金 1名 |
| 3 | 「税金」は、誰がどこに納めていると思いますか。 |
| | (誰が) |
| | ・国民が 3名 ・親 3名 ・私達 2名 ・大人 1名 ・偉い人 1名 |
| | ・すべての人 1名 ・自分たち 1名 |
| | (どこに) |
| | ・国 12名 ・銀行 2名 ・役場 2名 ・政府 1名 |
| 4 | 「税金」は、どんなことに使われていると思いますか。（複数回答可） |
| | ・私達の教科書 9名 |
| | ・福祉 2名 |
| | ・震災復興 2名 |
| | ・年金 1名 |
| | ・環境保護 1名 |
| 5 | 「税金」は、必要だと思いますか。 |
| | ・必要だと思う 16名 |
| | ・必要だと思わない 0名 |

6	「税金」がなくなるとどんなことがおこると思いますか。(複数回答可)
	・教科書がもらえない 3名
	・国が保てなくなる 3名
	・品物が高くなる 2名
	・年金がなくなる 1名
	・震災の復興が進まない 1名
7	「税金」について調べてみたいことはありますか。
	・税金の種類 ・税金の役割 ・税金の使われ方 ・税金の大切さ

以上のアンケート結果から、税金（税）と言葉については知っているが、ほとんどの児童は、どのように税金が集められたり使われたりしているのか認識していない。税金の集められ方や税金の使われ方を調べることによって、税金の働き方について考えさせていきたい。

(3) 指導の着眼

児童の実態を踏まえて、次のような点に留意して指導に当たることとする。

- ① 子育て支援センターのソーレ建設など身近な公共施設や地域開発、災害復旧の取り組みなどに必要な費用は税金によってまかなわれていることや、税金は国民によって納められていることなど税金が大切な役割を果たしていることに気付かせていく。
- ② ゲストティーチャーとして佐沼税務署の方にお願ひし、税金の働きについて専門的な視点から指導していただくことで税金の必要性などについて考えさせる。

3 単元の目標

- 地方公共団体や国の政治の働きに関心を持ち、国民生活には地方公共団体や国の政治の働きが反映していること、政治は国民生活の安定と向上を図るために大切な働きをしていることを理解するとともに、我が国の政治の働きと国民生活との関わりを考えようとする。

4 指導計画（10時間扱い・本時5／10）

時間	主な学習内容	指導上の留意点
1	①子育て支援センターの見学 支援センターを見学し、利用者にインタビューして、親の願ひについて話し合う。	・支援センターでやっている活動の様子やアンケートの結果から利用者の願ひについて考えさせる。
1	②ソーレの活動 支援センターを見学して、どんな目的や活動が行われているか調べる。	・支援センターで行われている、様々な活動の目的について考えさせる。
1	③住みよいまちを目指して 市役所や市議会を見学したり、市役所の人のお話を聞いたりして、市役所や市議会の働きについて調べる。	・支援センターの活動が始められた経過について、市役所の市議会の働きと関連づけて調べさせる。
2	④税金の働きを調べる 子育て支援センターを建設したり、運営したりするための費用がどこから出ているのか、収集した資料をもとに調べる。	・支援センターにかかる費用をもとに、税金が重要な役割を果たしていることに気付かせる。
	⑤税金の集められ方や使われ方について調べる。 (租税教育一本時1/2)	・公共施設と税金との関係について調べさせる。佐沼税務署の方のお話を聞いて税金の種類、集め方、使われ方など気付かせる。

1	⑥国会の働き 国会や選挙に関する資料を収集して調べ、国会の仕組みや働き，選挙の役割について，わかったことや考えたことを話し合う。	・国会の働きや選挙の役割について国民の願いとの関係で調べさせる。
1	⑦内閣の働き 内閣に関する資料を収集して調べ，内閣の仕組みや働きについて，わかったことや考えたことを話し合う。	・内閣の仕組みや働きについて，国民の願いとの関係で調べさせる。
1	⑧裁判所の働き 裁判所に関する資料を収集して調べ，裁判所の働きについて，わかったことや考えたことを話し合う。	・裁判所の働きについて，国民の権利との関係で調べさせる。
1	⑨もっといろいろ調べてみよう 登米市で行われている，さまざまな福祉事業について，収集した資料をもとに調べる。	・登米市の福祉事業について，グループや個人で調べさせる。
1	⑩ー1 まちづくりにわたしたちの声をいかそう 学習したことをもとに，みんなの願いをいかした公園をつくるために，どのようなことに配慮したらよいかを話し合う。	・子どもやお年寄りなど，いろいろな人が公園に対して，どのような願いをもっているかを考えさせる。
1	⑩ー2 国民の祝日について考えよう 国会でつくった法律によって定められた国民の祝日について話し合う。	・それぞれの祝日について，設けられた意義について話し合う。

5 本時の指導

(1) 題材名 「税金の働きを調べる」

(2) ねらい

税金の働きを知ることにより税金の必要性や大切さを理解する。

(3) 準備物

児 童 ー 筆記用具

教 師 ー ワークシート，プロジェクター，スクリーン，DVDプレーヤー

ゲストティーチャー ー 租税教育指導用アニメーションビデオ「マリンとヤマト不思議な日曜日」，1億円レプリカ(1)

(4) 学習過程

段階	学 習 活 動	指導上の留意点	準備物
つ か む (5分)	1 前時の学習を振り返る。 2 税金クイズをする。 ・誰が支払っているのだろう。 3 本時の学習課題を知る。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;">税金(税)の働きについて考えよう。</div>	・子育て支援センターのソーレ建設費用に税金が使われていたことを確認する。 ・税金クイズを考えことにより税金について関心をもたせたり，身近なものに税金が使用させたりしていることに気付かせる。 ・本時では，税金の集められ方や使われ方など税金の働きについて調べていくことを知らせる。	

<p>調べ る (30分)</p>	<p>4 ゲストティーチャーの話聞く。 ○税金の種類について知る。 国税 一消費税, 所得税 地方税一住民税, 入湯税 ○税金は必要かどうか考える。</p> <p>○DVD「マリンとヤマト不思議な日曜日」を視聴する。</p> <p>○税金がなくなったらどうなるのか考える。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;"> 税金がなくなり、小学校に行くのに月謝がかかるとしたら？ </div> <p>○税金を納めているのは誰だろうか。</p> <p>○税金の使い方について考える。</p> <p>5 税務署の嶋脇さんに質問しよう。 ・税金の使いみちは誰がどうやって決めるのだろうか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・佐沼税務署の嶋脇さんをゲストティーチャーとして紹介する。 ・税金の種類について知っていることを発表させる。 ・税金は必要かどうか理由もつけて発表させる。 ・「マリンとヤマトの不思議な日曜日」を視聴し税金について考えさせる。 ・みんなが豊かで安心して生活できる社会をつくるために税金が使われていることに気付かせる。 ・1ヶ月にどの位月謝がかかるのか予想させ、税金の必要性を認識させる。 ・児童に発表させ自分で商売している人、会社に勤めている人などみんなで納めていることに気付かせる。児童も「消費税」などで納税して社会に役に立っていることに気付かせる。 ・公共施設だけでなく公共サービスにも使用されていることに気付かせる。 ・学校の備品など身近にあるものにも利用されていることにも気付かせる。 ・自分の質問だけでなく、友だちから出された質問についてもしっかりと聞かせる。 	<p>「マリンとヤマトの不思議な日曜日」</p>
<p>まとめ (10分)</p>	<p>6 今日の学習を振り返る。 ○1億円を体感する。 ・すごく重い。 ・税金は大切なものだ。 ○感想を発表させる。</p> <p>7 次の予告を聞く。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・1億円の重さを体感しお金の価値について考えさせる。 ・感想を発表し合うことにより、税に対する必要性や納税の大切さに気付かせる。 ・国会の動きについて学習することを知らせる。 	<p>1億円のレプリカ</p> <p>ワークシート</p>

(5) 評価

- ①税金の働きについて理解することができたか。(発表, ワークシート)
- ②税金の必要性や大切さを理解することができたか。(発表, ワークシート)

6 活動を振り返って（第2回アンケート調査結果より）

- 1 税金(税)とは、どのようなものであるのか分かりましたか。
 - ・ 分かった 16名
 - ・ 分からない 0名
- 2 税金には、いろいろな税金があることが分かりましたか。
 - ・ 分かった 16名
 - ・ 分からない 0名
- 3 税金は、誰がどこに納めているお金か分かりましたか。
 - ・ 分かった 16名
 - ・ 分からない 0名
- 4 税金は、みなさんのくらしをよくするために使われていることが分かりましたか。
 - ・ 分かった 16名
 - ・ 分からない 0名
- 5 税金は、みなさんのくらしをよくするために必要なお金であることが分かりましたか。
 - ・ 分かった 16名
 - ・ 分からない 0名
- 6 税金について学習し分かったことや思ったことを書きましょう。
 - ・ 私は、今までは、どうして税金があるだろうと思っていましたが、今日の勉強をして、自分たちの生活や教科書などに使われていることが分かりました。
 - ・ 税には、いろいろな種類があって50種類もあるということに驚きました。
 - ・ 宝くじには税金がかからないことを知りました。
 - ・ ぼくは、道路を歩くにもお金がかかり、火事を消してもらうにもお金がかかっていることを初めて知りました。税金は大切だと改めて分かりました。また、1億円はとても重くて驚きました。すごいいい経験になりました。
 - ・ 自分の知らない税金の種類を知ることができました。
 - ・ 税金を納めるが日本の三大義務であることが分かってよかったです。
 - ・ 私が知っていた税金は消費税だけで、はらいたくないなあと思っていましたが、税金がなかったら、みんなの考えがばらばらになってしまうので税金は大切だと思いました。
 - ・ DVDをみて、税金がなくなると大変なことになることを初めて知りました。
 - ・ もしも税金がなくなったら、町がゴミだらけになったり、会社の給料が下がったり、いろいろなことが大変になることを知りました。税はめんどろなものだと思っていましたが、大切なものだと思って思いました。
 - ・ 税金がないと災害が起きた後、復旧工事が出来ないと分かりました。税金は私達にとってほらいたくないと思っていましたが、今日の学習をふり返って、とても大切な事だと分かりました。
 - ・ 税金は年齢に関係なくはらうことや税金がないと全部自分ではらわなければならないことが分かりました。また、税金がなくなると町がきたなくなることも分かりました。
 - ・ 税金がないと町がきれいにならなかつたり、みんなが困ったりすることが分かりました。

- ・ 小学生の月しゃで税金がなかったら約7万円もはらっていることになっているとは思いませんでした。
- ・ 税金がないと生活がとても大変になることが分かりました。また、税金の種類がたくさんあり、国税や地方税があることも初めて知りました。さらに、今日の学習で税金の大切さや種類が分かりました。今後の勉強に活かしていきたいと思いました。
- ・ 私は、税金がないと世界はとても大変な状態(道路が使えない橋が直せない、何でもお金がかかるなど)になるということがよく分かりました。そして、税金は私達の生活にとっても大切だということが分かりました。
- ・ 税金は必要で暮らしに役立っていることが分かったし、税金をはらわないと生活していけないし、火事が起きるとたくさんのお金をはらわないといけないことが分かりました。
- ・ 私の身近にある机や椅子なども税金ではらわれているということが驚きました。また、ビデオで税金のない国の様子を見ると道路は自分の土地だと言う人も出てくるのはいけないと思いました。そのためにも税金が必要だと改めて感じました。これからは、少しいやでも税金を国のため、自分たちの生活のためにはらわなくちゃいけないのだと思いました。
- ・ 税金がないくらしは、人々にとって不便なのであることが分かりました。1億円の重みも体感できました。税金の大切さがわかったので、これからもちゃんとはらいたいです。
- ・ スウェーデンは、消費税が25%であると聞いてびっくりしました。
- ・ 初めて知ったことは、信号機や標識なども税金がかかっているということです。また、小学校から高校生を卒業するまで1000万以上かかることも分かりました。また、錦織小学校に来て下級生にも税金のことを教えてあげてください。



1億円を持ってみよう



税金のことがわかったぞ

平成24年度 租税教育実践例（第6学年社会科）

登米市立加賀野小学校
教諭 加藤 めぐみ

1 単元名 私たちの生活と政治

「わたしたちの願いを実現する政治 ―税金の働きを調べる―」

2 指導に当たって

(1) 単元について

本単元は、学習指導要領の内容（2）「国民生活には地方公共団体や国の政治の働きが反映していること」を受け、地方公共団体や国の政治が国民生活の安定と向上を図るために大切な働きをしていること、日本国憲法は、国家の理想、天皇の地位、国民としての権利及び義務など国家や国民生活の基本を定めていることについて、調査したり資料を活用したりして調べ、我が国の政治の動きについて理解を深めていくことをねらいとしている。

ここでは、身近にある公共施設は住民の願いのもと作られていく過程を調べながら、国の政治の仕組みへとつなげていく。また、公共施設だけではなく、社会保障、災害復旧の取組、地域の開発などの事業にも触れ、そのために必要な費用は租税によってまかなわれており、租税が私たちの生活に重要な役割を果たしていることにも気付かせたい。そして、日本国憲法にもある納税の義務を果たすことの大切さにも気付かせていきたい。

(2) 児童の実態について（男17名、女14名、計31名）

児童に税金に関する簡単な実態調査を行った。その結果、ほとんどの児童が「税金」という言葉を知っており、知っている税金の種類としては「消費税」が一番多く挙げた。また「税金がなぜあるのか。」尋ねたところ、「国民が住みやすくなるため」「国を支えるため」「国の収入を安定させるため」など、税金が国民や国全体のために使われていると考える児童が多かった。

今回の学習活動を通し、詳しくどのようなことに税金が使われているか、税金がなくなったら私たちの生活はどうなってしまうのかなど、自分の生活と税金を関連させながら、税について正しい知識を身に付けさせていきたい。

(3) 指導の方向

本単元では、以下の点に留意して指導していく。

- 税務署からゲストティーチャーを招いて租税教室を実施することで、税に関する専門的な知識を学び、税についての理解をより深めていく。
- 税金がない世界を知ること、なぜ税を納めることが国民の義務になっているか考えさせ、さらに日本国憲法で定められている義務と権利の学習へとつなげていく。

3 小単元の目標

- 地方公共団体や国の政治の働きに関心を持ち、国民生活には地方公共団体や国の政治の働きが反映していること、政治は国民生活の安定と向上を図るために大切な働きをしていることを理解する。
- 地方公共団体や国の政治の働きに関する社会的事象から学習課題を見だし、公共施設を見学したり各種資料を活用したりして調べたことをまとめるとともに、政治には国民生活の安定と向上を図るために大切な働きをしていることを考え、適切に表現する。

4 小単元の評価規準

観 点	評 価 規 準
社会的事象への 関心・意欲・態度	・子育て支援事業など，地方公共団体や国の政治の働きに関心をもち，進んで調べようとしている。
社会的な 思考・判断・表現	・子育て支援事業など，地方公共団体や国の政治の働きについて，学習問題や予想，学習計画を考え表現するとともに，地方公共団体が市民の願いを取り入れながら国と協力していること，政治は国民生活の安定と向上を図るために大切な働きをしていることについて考え，適切に表現している。
観察・資料活用の 技術	・子育て支援事業など，地方公共団体や国の政治の働きについて，子育て支援施設や市議会などを見学したり，各種資料を活用したりして，必要な情報を集めて読み取り，レポートや作品などにまとめている。
社会的事象についての 知識・理解	・地方公共団体や国の政治の基本的な考え方やしくみ，子育て支援などの事業を実現するために地方公共団体が市民の願いを取り入れながら国と協力していること，これらの事業を進め国民生活の安定と向上を図るために政治が大切な働きをしていることを理解している。

5 指導計画（9時間扱い，本時4/9）

時	主な学習活動と内容	指導上の留意点
1	○子育て支援センターの見学 ・子育て支援センターを見学し，利用者にインタビューして，幼い子どもをもつ親の願いについて話し合う。	・子育て支援センターでやっている活動の様子やアンケートの結果から，利用者の願いについて考えさせる。
2	○ソーレの活動 ・子育て支援センターを見学したり，所長さんの話を聞いたりして，どんな目的で，どんな活動が行われているのかを調べる。	・子育て支援センターで行われている，様々な活動の目的について考えさせる。
3	○住みよいまちを目指して ・市役所や市議会を見学したり，市役所の人のお話を聞いたりして，市役所や市議会の働きについて調べる。	・子育て支援センターの活動が始められた経過について，市役所や市議会の働きかけと関連付けて調べさせる。
4 本 時	○税金の働きを調べる ・子育て支援センターを建設したり運営したりするための費用がどこから出ているか，ゲストティーチャーの話を聞き理解を深める。	・佐沼税務署の方をゲストティーチャーに迎え専門的立場から指導していただくことにより，税金の役割や必要性について気付かせる。
5	○国の政治1－国会の働き ・国会や選挙に関する資料を収集し調べ，国会の仕組みや働き，選挙の役割について，わかったことや考えたことを話し合う。	・国会の働きや選挙の役割について，国民の願いとの関係について調べさせる。
6	○国の政治2－内閣の働き ・内閣に関する資料を収集し調べ，国会の仕組みや働きについて，わかったことや考えたことを話し合う。	・内閣の仕組みや働きについて，国民の願いとの関係を調べさせる。

7	○国の政治3－裁判所の働き ・ 裁判所に関する資料を収集し調べ，国会の仕組みや働きについて，わかったことや考えたことを話し合う。	・ 裁判所の仕組みや働きについて，国民の権利との関係を調べさせる。
8	○もっといろいろ調べてみよう ・ 東松山市で行われている，さまざまな福祉事業について，収集した資料をもとに調べる。	・ 東松山市の福祉事業について，グループや個人で調べさせる。
9	○まちづくりに わたしたちの声を生かそう ・ 学習したことをもとに，みんなの願いを生かした公園を作るために，どのような配慮をしたらよいか話し合う。 ○国民の祝日について考えよう ・ 国会で作った法律によって定められた国民の休日について，話し合う。	・ 子どもやお年寄りなど，いろいろな人が公園に対してどのような願いをもっているのかを考えさせる。 ・ それぞれの祝日について，設けられた意義について考えさせる。


6 本時の学習計画


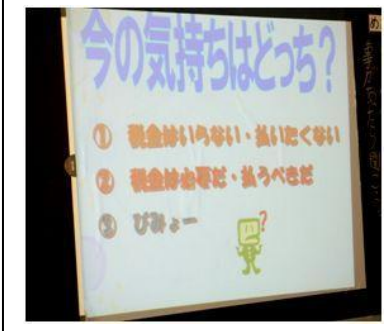


(1) 小単元名 税金の働きを知ろう

(2) ねらい

税金が私たちの生活に重要な役割を果たしていることや税金の必要性，自分たちの生活に密接に関わっていることを理解する。

(3) 学習過程

段階	学 習 活 動	○ 学習の様子や様子 ・ 児 童 の 反 応	準備等
前時	○ 次時の学習課題を知る。		
つかむ	1 本時の学習課題を知る。 税金の働きを知ろう。 2 ゲストティーチャーを紹介する。	○税金の役割や私たちの生活とどのように関連しているか本時の学習内容を知らせる。 ○ゲストティーチャーである税務署の方を紹介する。	
5分			
考える	3 税務署の方の話を聞き，様々な税金について考える。		スクリーン (パソコン) (プロジェクター)

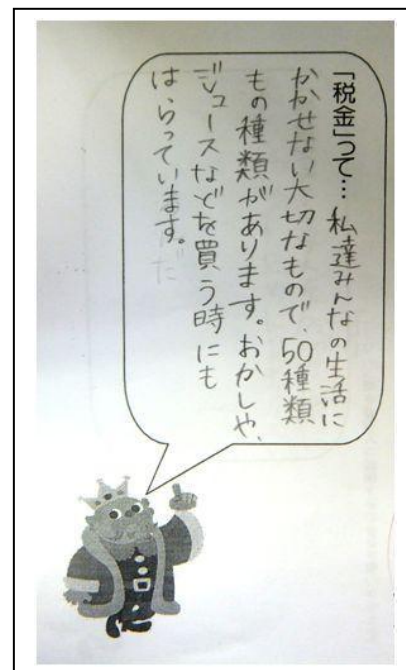
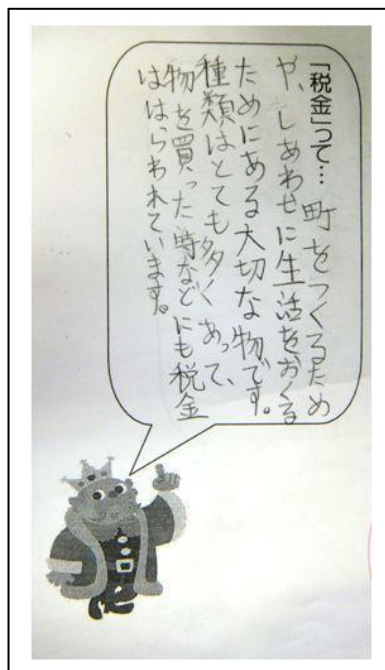
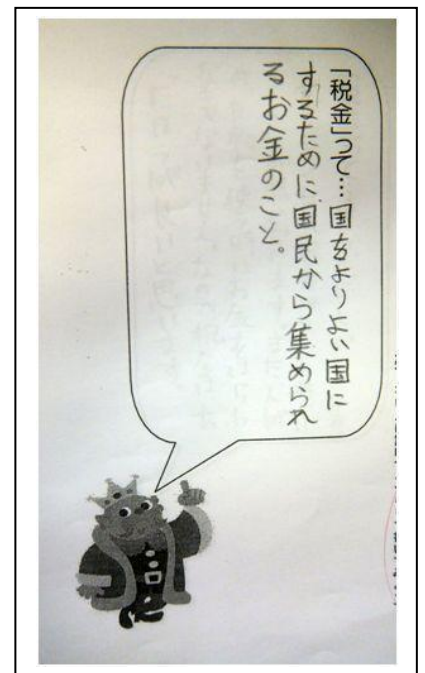
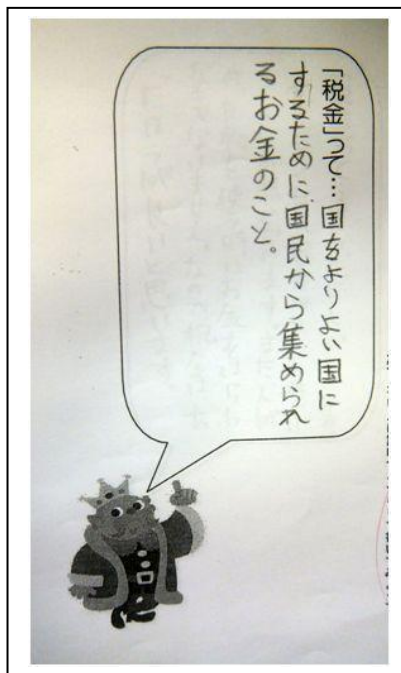
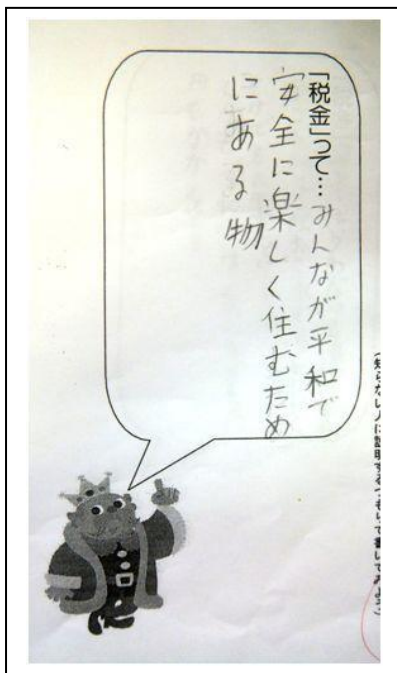
<p>知る</p> <p>25分</p>	<p>(1)知っている税金を発表する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・消費税 ・所得税 ・住民税 	
	<p>(2)世界の消費税について知る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・国によって税金の金額が違うんだね。 ・アメリカは州ごとに税金の金額が違うから表には載っていないんだね。 	
	<p>(3)税金を払いたいのか、払いたくないかを発表する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・払いたい 5人 ・払いたくない 0人 ・どちらともいえない 26人 	
	<p>(4)DVD「マリンとヤマトの不思議な日曜日」を鑑賞し、もし税金がなければどうなるかを考える。</p>	<p>○DVDを見た後の税金を払いたいのか、払いたくないか聞く。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・払いたい 29人 ・払いたくない 0人 ・どちらともいえない 2人 	<p>TV DVDプレイヤー (DVD)</p>
	<p>(5)学校と税金の関係について考える。</p>	<p>○学校も税金により机や学校の備品があることを知る。税金がなく、学校に月謝があった場合、一人あたり月7万円かかることを知る。</p> <p>○学校以外にも公共施設や災害時にも税金は使われていることを知る。</p>	
	<p>(6)1億円のレプリカを持ち、量と重さを実感する。</p>	<p>○重さは約10kgあることを知る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・予想よりも重い。 	

まとめる 10分	4 税金の働きについて知ったことをまとめる。	○税金について初めて知ったことや驚いたことを書く。 ○税金について相手に分かりやすいように、学んだことをもとに自分の言葉でまとめる。	振り返りシート
-------------	------------------------	---	---------

(4) 評価

税金の必要生や重要性について気づき、自分たちの生活と密接に係わっていることを理解できたか。(発言・ワークシート)

7 税金についてまとめた児童の感想



- 1 単元名 私たちの生活と政治
小単元名 私たちの願いを実現させる政治

2 小単元の目標

- ◎ 公民生活の安定と向上を図ろうとする地方公共団体や国の政治の働きを理解すると共に、政治の働きに関心をもつようにする。
- ◎ 調査・資料活用などの活動を通して政治の働きを調べ、政治は国民生活の安定と向上を図るために大切な働きをしていることを考える力を育てる。

【評価規準】

- 関心・意欲・態度
 - ・ 市内の施設が建設されるまでに関心をもち、進んで調べようとする。
 - ・ 税金の種類や集め方、使い道などについて関心をもち、税金に関することを進んで調べようとする。
- 思考・判断・表現
 - ・ 新しい施設の建設を待つ人には、どんな願いがあったのかを考える。
 - ・ 税金が人々の生活の安定と向上にどのようにかかわっているかを知り、税金の大切さについて考える。
- 技能
 - ・ 施設の建設にあたり、人々の願いや考えのもとに、どのような施設や整備の工夫がされたかを調査する。
 - ・ 税金の種類や集め方、使い道などについて調べ、調べたことをまとめて発表する。
- 知識・理解
 - ・ 人々の願いが、どのように施設建設の実現につながっていったのかを理解する。
 - ・ 公共施設の建設や地域の開発の実現、公共サービスの充実には、税金が不可欠であることを理解する。

3 活動計画 (本時5 / 10)

時	主な活動内容
1	○ 浅水ふれあいセンターの建設について、知りたいことを発表し、調べる計画を立てる。
1	○ 浅水ふれあいセンターを利用したことを振り返ったり、地域の利用者や管理者に取材し、分かったことを写真や文章などにまとめたりする。
1	○ 浅水ふれあいセンターが政治の働きによって建設されたことをまとめる。
3	○ 浅水ふれあいセンターの建設の費用を例に、税金の関係について調べる。 ○ 税金の働きについて知る。(本時) ○ 税金の働きについてまとめる。
1	地域センターの建設を例に、市議会の働きについてまとめる。
1	自分たちの地域の議会を比べながら、国会の働きについてまとめる。
1	選挙の仕組みや考え方を調べ、選挙の大切さについて考えることができる。
1	公共施設の建設以外の事例を通して、政治の働きについて考える。

4 本時の活動

(1) 本時のねらい

- 浅水ふれあいセンターの建設費用と税金の関係から、税金の働きについて理解することができる。

(2) 学習の実際

活 動 の 流 れ

つかむ

1 本時の学習課題を知る。

今日の学習課題：税金の働きについて調べよう。

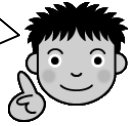


わたしたちや地域の人々と深いつながりのある浅水ふれあいセンター、その建設の費用には税金が使われていることが分かりました。それでは、その税金ってどのように集められているのでしょうか。



わたしたちは何かを買う時、消費税を払っています。

うちのお父さんは、所得税のことを、お母さんに話していたよ。



この間、涌谷の温泉に行ったら『入湯税』って言うのがあったけど……。

税金にはどんな種類があるんだろう……。



2 消費税の他にどのような税金があるのかを知る。

調べる



税金には国税として所得税、相続税、消費税、酒税、地方税として、県税（県民税、事業税、自動車税）市町村税（市町村民税、軽自動車税、共同施設税、入湯税）などがあります。



そんなにたくさんの種類があるの？

20000円のゲームを買って、1000円も消費税を払っているんだ……。

なんだかもったいないなあ……損している気分……。

そのうち10%になるそうだよ。



税金なんて、必要ないんじゃない？



ところで税金って、地域の施設の建設以外に、どんなことに使われているんだろう。

3 税金の使い道について知る。



もし税金がなかったら、どういう生活になるか想像してみましよう。

○ ごみを捨てたい・・・

処理する費用
〇〇円頂きます！



○ 大変！火事だ！！

消防車の出動料
金〇〇円です。



○ 橋が壊れて通れない！！

修理代はどなたに請
求すればいいですか？



○ ふれあいセンターで遊ぼう！！

使用料〇〇円頂
きます。



○ 急病人だ！！

救急車の出動料金
〇〇円です。



税金がないと大変なんだなあ・・・。



学校に関することで税金の使われ方を見てみましょう。

学校では・・・教科書は1冊	1,000円から3,000円
フラスコは1つ	3,000円
椅子は1脚	13,000円
顕微鏡は1台	52,000円

なんと税金がなかったら、
1ヶ月の月謝は7万

東日本大震災の時には・・・

仮設住宅建設・道路修理・瓦礫撤去などに使われました。

これから先、学校や市役所（町役場）、公民館や消防署、警察署などの建築・建て直しなどにも税金が使われます。

また、高齢者が増えている昨今、高齢者や失業者への生活保護費の支援、福祉サービス、医療サービスなどにも税金が利用されています。



税金はぼくたちが安全に安
心して暮らしていくために、欠
かせないものなんだね。

税金のお陰でわ
たしたちは、安心
して暮らしていけ
るのね。



4 税金はだれがどのようにして決めるのかについて知る。



税金は国民が選挙で選んだ代表者による会議『国会』で
使い道が決められます。憲法でも税金を納める義務が記されて
います。

5 税金の働きについて感想を話し合う。



税金はわたしたちが豊かな生活を送る上で欠かせないものなんだなあ・・・



5 活動の振り返り

○ 児童の感想

浅水ふれあいセンターは税金でつくられたことが分かりました。私は知らないで遊んでいました。これからはそのことを考えて、大切にに使わせてもらわなければならないと思いました。また、税金はいろんな種類があることが分かりました。たばこやお酒などでも払っているなんて、びっくりしました。

(A S)

税金の働きについての学習をして、税金はとても大切なことが分かりました。

例えば学校で税金がなければ、月謝として一人7万円も払わなければならないなんて、すごく驚きました。私は3人兄弟なので、3人合わせると21万円も払わなければなりません。税金のおかげで安心して勉強ができるのだと分かりました。

(M O)

私は今まで、どうしてこんなに税金を払わなくちゃいけないのだろうと思っていました。でも、今日の学習を通して、税金がわたしたちの生活に役立っていることが分かって納得しました。

お母さんにもこのことを教えたいです。

(N O)

税金のない生活・・・考えたことがなかったけど、大変なんだと分かりました。

今、ニュースで増税に反対だと言っている人々をよく見かけますが、わたしは仕方がないと思います。

もっと住みやすい社会にしていってほしいです。

(S W)

税金がすごく大切なことが改めて分かりました。今までこんなに税金の種類があるなんて知らなかったの、知ることができてよかったです。浅水ふれあいセンターで活動したり、遊んだりできるのも、税金を納めている人たちのおかげなんだなあと思いました。

(K M)

物を買うとき、21円とか、なんで中途半端なんだろうと思っていたけど、税金の働きを知って納得しました。

税金はわたしたちが豊かな生活をするために必要なことが分かりました。

(M S)

こんなに税金の種類があるとは思いませんでした。もっと種類を知りたいと思いました。

(S S)

今まで支払われた税金は、どこで使うだろうと疑問に思っていたのですが、税金はみんなの暮らしに役立っていることが分かりました。

(R T)

平成24年度 租税教育実践例（第6学年社会科）

登米市立米岡小学校

教諭 佐藤 正彦

- 1 単元名 私たちの生活と政治
わたしたちの願いを実現する政治 —税金のはたらきを調べよう—

2 指導にあたって

(1) 単元について

本単元は学習指導要領の内容(2)「国民の生活には地方公共団体や国の政治の働きが反映していること」を受けている。主な学習内容としては「国民生活には地方公共団体や国の政治が反映していること」と、「日本国憲法は、国家の理想、天皇の地位、国民としての権利及び義務など、国家や国民生活の基本を定めていること」を調査したり、資料を活用したりして調べ、我が国の政治を具体的にとらえ、我が国の政治などについての考えを含めていく活動である。

単元の構成は前段が「地方公共団体や国の政治の働き」、後段が「日本国憲法の基本的な考え方」となっている。学習を進めていく中で、「住民の願いが反映されていること」や、その願いは「日本国憲法に保障されていること」が基盤となっていることに気付かせることが大切である。また、それらを踏まえた上で、税金が果たす大きな役割について知り、どのような税があるかを知ることにもねらいとしている。

(2) 児童の実態（男9名 女10名 計19名）

児童に事前に「税金」についてのアンケートを実施したところ、全員が税金という言葉については聞いたことがあり、知っていると回答した。また、税金の種類については、自分に関係のある「消費税」や「車にはらう税金」「土地にかかる税」などの種類を多くの児童が挙げた。また、税金は必要だと思うかという質問に対しては、全員が必要であると答えた。その理由については、ぼんやりとした回答が多く、税金の使い道について正しく答えられた児童は数名であった。さらに、税金について調べたいことへの回答では、「どうやって集められているのか」「何に使われているのか」という意見が挙げられ、今後の学習の中で課題として設定し考えさせていきたい。

(3) 指導の着眼

以上のような実態を踏まえて、次のような点に留意して指導にあたりたい。

【教科との関連】

社会科の歴史や政治の学習の中で「税」にかかわる単元を意識して取り上げ、税の仕組みや必要性に触れさせながら学習に取り組ませていく。

【協力機関との連携】

税務署からゲストティーチャーを招いて租税教室を実施することで、税に関する専門的な知識を学び、税についての理解を深めることで、税に対する正しい認識を促すことができるようにする。

【事後の発展】

学習した内容を標語やポスターなどで表現し、納税義務と税に対する適正な使い道についての意識を高めさせるようにする。

3 単元の目標

(1) 単元目標

- 地方公共団体や国の政治の働きに関心をもち、国民生活には地方公共団体や国の政治の働きが反映していること、政治は国民生活の安定と向上を図るために大切な働きをしていることを理解する。
- 地方公共団体や国の政治の働きに関する社会的事象から学習問題を見だし、公共施設を見学したり各種資料を活用したりして調べたことをまとめるとともに、政治は国民生活の安定と向上を図るために大切な働きをしていることを考え、適切に表現する。

(2) 評価規準

観 点	評 価 規 準
社会的事象への 関心・意欲・態度	子育て支援事業など、地方公共団体や国の政治の働きに関心をもち、進んで調べようとする。
社会的な 思考・判断・表現	子育て支援事業など、地方公共団体や国の政治の働きについて、学習問題や予想、学習計画を考え表現するとともに、地方公共団体が市民の願いを取り入れながら国と協力していること、政治は国民生活の安定と向上を図るために大切な働きをしていることについて考え、適切に表現している。
観察・資料活用の技能	子育て支援事業など、地方公共団体や国の政治の働きについて、子育て支援施設や市議会などを見学したり、各種資料を活用したりして、必要な情報を集めて読み取り、レポートや作品などにまとめる。
社会的事象についての 知識・理解	地方公共団体や国の政治の基本的な考え方やしくみ、子育て支援などの事業を実現するために地方公共団体が市民の願いを取り上げながら国と協力していること、これらの事業を進め国民生活の安定と向上を図るために政治が大切な働きをしていることを理解している。

4 学習計画

時	おもな学習活動	指導上の留意点
1	○子育て支援センターの見学 ・子育て支援センターを見学し、利用者にインタビューして、幼い子供どもを持つ親の願いについて話し合う。	・子育て支援センターでやっている活動の様子やアンケートの結果から、利用者の願いについて考えさせる。
2	○子育て支援センター「ソーレ」の活動 ・子育て支援センターを見学したり、所長の話を見たりして、どんな目的でどんな活動が行われているのかを調べる。	・子育て支援センターで行われている、様々な活動の目的について調べさせる。

3	○住みよい街を目指して ・市役所や市議会を見学したり，市役所の人の話を聞いたりして，市役所や市議会の働きについて調べる。	・子育て支援センターの活動が始められた経過について，市役所や市議会の働きと関連づけて調べさせる。
4 本 時	○税金の働きを調べる。 ・子育て支援センターを建設したり運営したりするための費用や，米岡小学校の地震被害を修理した費用はどこから出ているのか考える。	・佐沼税務署の方をゲストティーチャーに迎え，専門の立場から指導していただくことにより税金が重要な役割を果たしていることに気付かせる。
5	○国の政治1－国会の働き ・国会や選挙に関する資料を収集し調べ，国会の仕組みや働き，選挙の役割について，分かったことや考えたことを話し合う。	・国会の働きや選挙の役割について，国民の願いと関連づけて調べさせる。
6	○国の政治2－内閣の働き ・内閣に関する資料を収集して調べ，内閣の仕組みや働きについて，分かったことや考えたことを話し合う。	・内閣の仕組みや働きについて，国民の願いとの関係で調べさせる。
7	○国の政治3－裁判所の働き ・裁判所に関する資料を収集し調べ，裁判所の働きについて，わかったことや考えたことを話し合う。	・裁判所の働きについて，国民と権利との関係で調べさせる。
8	○もっといろいろ調べてみよう ・東松山市で行われている，様々な福祉事業について，収集した資料をもとに調べる。	・東松山市の福祉事業について，グループや個人で調べさせる。
9	○1まちづくりにわたしたちの声を生かそう ・学習したことをもとに，みんなの願いを生かした公園を作るために，どのような配慮をしたらよいか話し合う。	・子どもやお年寄りなど，いろいろな人が公園に対してどのような願いをもっているのかを考えさせる。
	○2国民の祝日について考えよう ・国会で作った法律によって定められた国民の休日について，話し合う。	・それぞれの祝日について，設けられた意義について考えさせる。

5 本時の学習（本時4/9）

(1) 題材名 「税金の働きを調べよう」


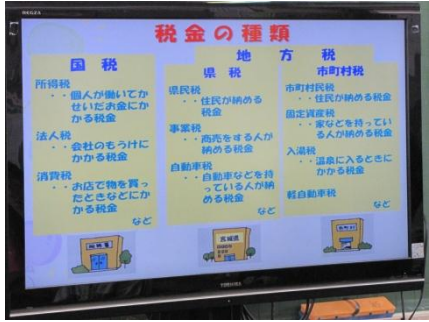


(2) ねらい

税金の目的や働きに関心をもち，税金は公共のために使われ必要なものであることや税金の働きについて理解する。

(3) 準備物

小学校社会科用学習資料「わたしたちのくらしと税金」

(4) 実践の様子

階	学 習 活 動	学習の様子
つ か む	<p>1 本次の学習課題を確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;"> <p>自分たちの生活と税金の関わりを考えよう</p> </div> <p>2 ゲストティーチャーを紹介する。</p>	 <p>○税務署の方とゲストティーチャーを紹介し、税についての学習をしていく確認をした。</p>
考 え る	<p>3 ゲストティーチャーの話を聞き、様々な税金について考える。</p> <p>(1) 知っている税金を発表する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・消費税 ・固定資産税 ・所得税 ・自動車税 など <p>(2) 世界の消費税について知る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本の消費税は世界の中では低い。 ・消費税が高い国もある。 ・北欧諸国は福祉が充実していて、医療費がほとんど無料の国もある。 <p>4 税金の必要性を考える。</p> <p>(1) 消費税を払う必要があるか発表する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・消費税があると、商品が高くなるからいらんと思う。 ・税金が無いと、きっといろんなことで困ると思うからあったほうがいい。 <p>(2) ビデオ「マリンとヤマトの不思議な日曜日」を視聴し、もしも税金が無かったらどうなるかを考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ゴミ収集車が来ないと、街中が汚くなってしまう。 ・火事や救急車も有料になってしまう。 ・みんなの道路という意識もなくなってしまう。 <p>(3) 学校と税金の関わりを考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校は税金によって、無償になっている。 ・小学校に月謝があったら7万円になる。 ・税金はもともと保護者が納めており、顕微鏡や机などの高価な学校備品に当てている。 <p>(4) 1億円の量と重さを体感し、実感をもつ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・10k gもある。 ・国家予算の90兆円はものすごいことになる。 ・初めて持ったけどかなり重い。 	 <p>○税金の種類をつかむ。</p>  <p>○税金のない世界について考える。</p>  <p>○1億円を実感する。</p>

- 5 感想を發表する。
- ・税金が必要なことがわかった。
 - ・学校が税金のおかげで無償になっていることがわかった。
 - ・橋や道路など、自分たちの生活に必要なことに税金が使われていることが分かった。

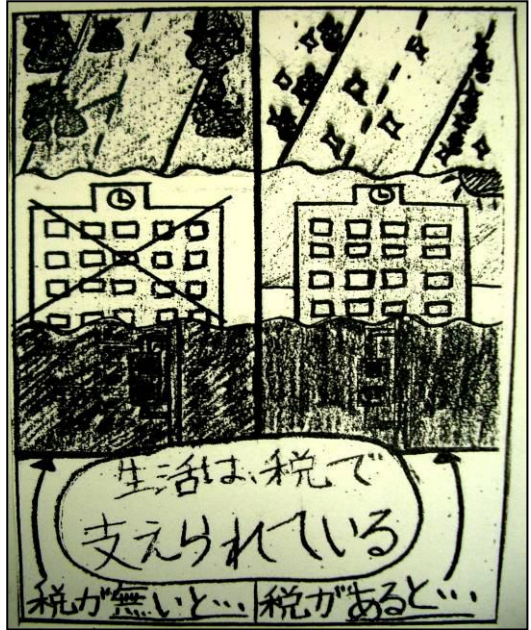
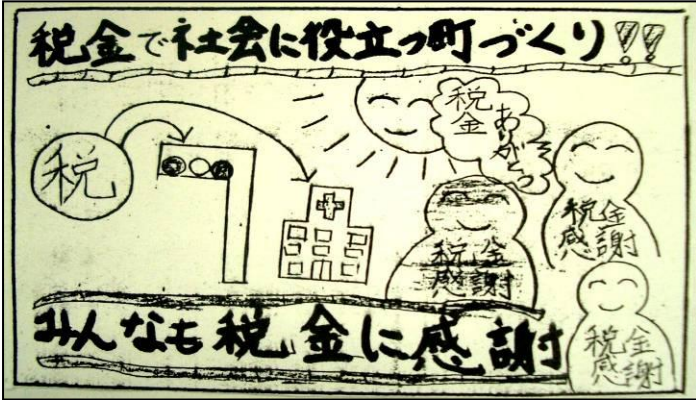
まとめる



○感想を發表する。

6 児童の活動の様子

(1) 税に関する絵はがきコンクールへの参加



(2) 児童の感想

〈税の勉強の感想〉
 今日聞いてみて、初めは税で必要なのかなって思っていたけど、色々見たり、税がないと不便になるのが分かりました。税がないと平和に暮らすのも手も分かりました。自分の生活の中で、税は役に立っているのだから、ただいまの勉強で、生活の中で、役立っている事が分かりました。今日の勉強で、税は大切な事が分かりました。

〈感想〉
 今日は色々な税金の話を聞いてとても勉強になりました。スウェーデンは消費税がなくて、日本は消費税が高いので、色々な税金の話を聞いて、消費税が高いと、税金の役割が分かると思います。税金がないと、生活が成り立たないと思います。税金は、生活を成り立たせるために必要だと思います。税金は、生活を成り立たせるために必要だと思います。

税についての感想
 私は、税というものが、どのようなものか話を聞いて、よく分かりました。税は、国に収めるお金で、色々なサービスが提供されています。税金がないと、国は成り立たないと思います。税金は、生活を成り立たせるために必要だと思います。税金は、生活を成り立たせるために必要だと思います。

〈感想〉
 私は、最初に税金という言葉にあまり聞き覚えがなかったけど、税金の授業をうけて、よく分かりました。税金は、国に収めるお金で、色々なサービスが提供されています。税金がないと、国は成り立たないと思います。税金は、生活を成り立たせるために必要だと思います。税金は、生活を成り立たせるために必要だと思います。

1 題材名 「税金ってなあに」

2 指導にあたって

(1) 題材について

税金とは、国の財政を賄う収入の最も主要なものであり、私たちが健康で心豊かに生活を送るために大切な役割を果たすお金である。日本国憲法には、「国民は、法律の定めるところにより、納税の義務を負う。」と明記されている。本題材では、「もし、税金が無くなればどうなるか」ということについて、自分たちの日常生活に置き換えて考えることにより、納税の大切さ・必要性を実感させていく。そこで、小学校中学年という児童の発達段階を考慮し、社会科学習で取り組んでいる「くらしをまもる」学習と関連させ、今までの既習事項であり見学体験を行ってきた、消防士や警察官の仕事に焦点を当てながら、税金について考えさせていき、関心を高めていきたいと考える。

(2) 児童の実態（男 17 名 女 17 名 計 34 名）

租税教育を行うにあたり、児童が税金（税）についてどのくらい理解をしているのか、下記の内容でアンケート調査を実施した。（平成 24 年 5 月 29 日実施）

<p>1 「税金」という言葉を聞いたことがありますか？</p> <p>・ある 22 名 ない 12 名</p> <p>2 あると答えた人は、どんな税金ですか？</p> <p>・消費税 21 名 ・介護税 2 名 ・国民税 1 名</p> <p>・値上げ税 1 名 ・値下げ税 1 名</p> <p>3 「税金」は何に使われていると思いますか？</p> <p>・分からない 29 名 ・国や県のためのお金 1 名</p> <p>・お金のこと 1 名 ・お金を払うとき 1 名</p> <p>4 「税金」は必要だと思いますか？</p> <p>・必要 9 名 ・いらぬ 7 名 ・分からない 18 名</p> <p><必要な理由></p> <p>・困ったときに人のためになるから 6 名</p> <p>・買い物をするときに必要なだ 1 名</p> <p>・お金の価値を上げたり下げたりするのに必要だから 1 名</p> <p><いらぬ・分からない理由></p> <p>・意味が分からないから 19 名</p>

・お金がもったいないから 6名

5 あなたは、税金をはらうことについて、どう思いますか？

・はらってもよい 3名 ・はらいたくない 16名 ・どちらでもよい 9名

・わからない 6名

<はらってもよい理由>

・困った人を助けるお金だから 1名 ・絶対に払うお金だから 1名

・ローンになるから 1名

<はらいたくない理由>

・お金がもったいないから 11名 ・ほしい物が買えなくなるから 2名

・人それぞれに事情があるから 3名 ・はらいたくないから 1名

<どちらでもよい理由>

・どちらでもよいお金だから 3名

・分からないお金だから 4名

<わからない理由>

・分からないお金だから 6名

6 「税金」について知りたいことを書いてください。

・税金の意味と仕組み 25名

・税金の使い道について 8名

・税金の種類について 2名

以上のアンケートの結果から、

①「税金」という言葉について、クラスの60%以上は聞いたことはあるが、ほとんどの児童は消費税以外の税を知らない。

②85%以上の児童は税金が何に使われているのか分からないと回答していることから、税金の使い道に関して認識がないと考えられる。

③税金の必要性に関して、半数以上が分からないと回答しており、「いらぬ」と回答した約20%の児童を含めると、税金に対しての知識はほとんどないと考えられる。

④「税金」を払うことに関して、約半数が払いたくないと回答しており、約30%の児童は流動的であり、全体的に納税についての意識が希薄であると考えられる。

以上をまとめると、「税金」について、「払いたくない」という漠然としたイメージしか持っていない児童が大半であり、「税金」についてよくわかっていない実態がほとんどであると考えられる。

(3) 指導の着眼

○税金に関して児童に興味・関心をもたせるために、社会科「くらしをまもる」学習の中で、消防署・警察本部見学体験してきたことを生かし、消防車や救急車、パトカーの費用、また消防士や警察官の給料がどこから支出されているのかという疑問をもたせ、「税

金」の有効性や必要性を認識させていく。

- 税金を払いたくないという児童が多い実態から、「もし、税金が無くなればどうなるか」ということについて、自分たちの日常生活に置き換えて考えることにより、納税の大切さ・必要性を実感させる。
- ゲストティーチャーとして税務署の方にお願ひし、税金とは何か、どのような目的で使用されているかなど専門的な視点から指導していただくことで税金について理解させる。

3 指導計画（3時間扱い・本時 2／3）

税金ってなあに	時間	ねらい	主な学習内容（指導時間）
	1	「税金」を知る。	・事前に登米っ子学習で税の種類がどれくらいあるのか、最低三種類を家の人に聞いてノートに書いてくるよう指示しておく。税の種類はどれくらいあるのか、そして、その税はどのように使われているのかを理解させる。特に、社会科「くらしをまもろう」の学習と関連して、消防署で使用されている消防車や救急車、警察官が乗るパトカーの費用、また消防士や警察官の給料が「税金」で成り立っていることに気付かせる。
	2 (本時)	「税金」の必要性について考える。	前時で学んだことを想起させた上で、もし「税金」がなかったらどうなるのかを考えさせ、「税金」の必要性や大切さについて考えさせる。消防署・警察本部見学体験を生かすため、「火事が起きた場合」と「犯罪が起きた場合」の2パターンで考えさせる。
	3	「税金」についての考えを深める。	「税金」に関して、ゲストティーチャーのお話を聞いたり、さらに知りたいことを質問したりして「税金」とはどういうものなのか理解を深めさせる。

4 本時の指導

(1) ねらい

- ①税金と生活の関わりについて理解することができる。
- ②税金の必要性について理解することができる。

(2) 準備物

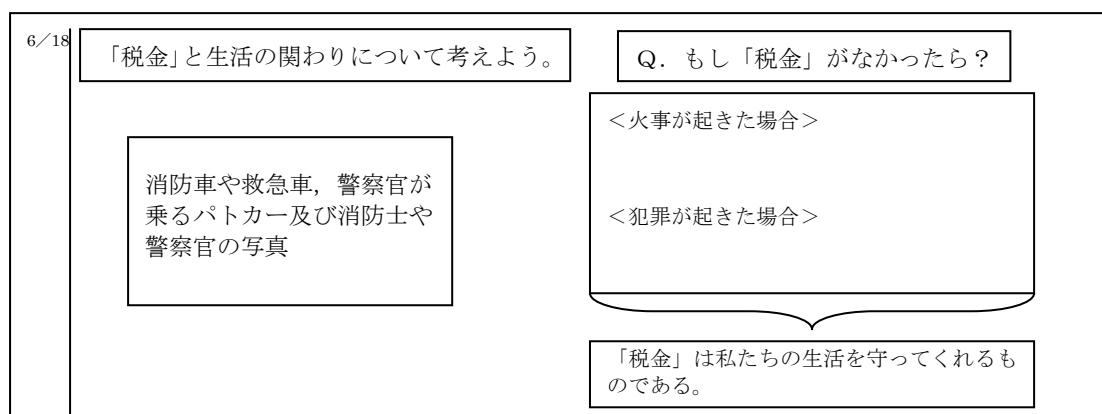
児童 筆記用具

教師 火事と犯罪の写真、ワークシート、消防車や救急車・警察官が乗るパトカー及び消防士や警察官の写真

(3) 本時の学習過程

段階	学習活動	指導上の留意点	準備物
導入 (7)	<p>1 前時を振り返る。</p> <p>2 本時の学習課題を知る。</p> <p>税金と生活の関わりについて考えよう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 前時に学んだ、消防車や救急車、警察官が乗るパトカーの費用、また消防士や警察官の給料が「税金」で成り立っていることを想起させる。 本時では、私たちの身近な事例をもとに「税金」の使われ方について考えていくことを知らせる。 	<ul style="list-style-type: none"> 消防車や救急車、警察官が乗るパトカー及び消防士や警察官の写真
展開 (30)	<p>3 「税金」のはたらきを考える。</p> <p>○「税金」がなかったらどうなるだろうか。①火事が起きた場合、②犯罪が起きた場合で考える。</p> <p>①<火事が起きた場合></p> <ul style="list-style-type: none"> 消防士が消火しないから、火は消えない。 その家の人や近所の人たちで消火しなければならなくなる。 <p>②<犯罪が起きた場合></p> <ul style="list-style-type: none"> 警察官が捕まえないから、犯罪が多くなってしまう。 街が犯罪だらけになってしまい住みにくくなる。 <p>4 自分の考えを発表し、税金のはたらきについてまとめる。</p> <p>「税金」は私たちの生活を守ってくれるものである。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 今まで調べてきた、また見学体験してきた消防署や警察本部の仕事内容を想起させた上で、「もし税金がなかったら」と問い、考えさせるようにする。 ワークシートを配付し、自分の考えを書くように指示する。 自分の考えを書けない児童には、消火活動を行う消防士、犯罪を取り締まる警察官の給料は「税金」であることを確認させた上で、「税金」がなかったらどうなるかを考えさせ、書き終わった児童には、結果として街はどうなるのかについて考えるよう指示する。 ①火事が起きた場合、②犯罪が起きた場合を発表させ、その結果、「税金」はどんな存在なのかをまとめるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> 火事と犯罪の写真 ワークシート配付
まとめ (8)	<p>5 本時の学習を振り返り、感想を書く。</p> <ul style="list-style-type: none"> 「税金」って大切なんだなあ。 「税金」を払いたくないと思っていたけど少し払ってもいいかなあ。でもやっぱり払うのはちょっと…。 	<ul style="list-style-type: none"> 2～3人の児童に感想を発表させ、「税金」に対する必要性について理解を深めさせるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ワークシート回収

(4) 板書計画



(5) 評価

- ①税金と生活の関わりについて理解することができたか。(発表，ワークシート)
- ②税金の必要性について理解することができる。(発表，ワークシート)

1 税金の種類 (〇〇税など)

2 税金の使われ方 (税金は何に使われているかな?)

3 もし税金がなかったら!?(火事と犯罪, 2つの場合で考えてみよう。)

①<火事が起きた場合>

②<犯罪が起きた場合>

4 税金に対する感想 (税金について思ったこと, 感じたことを書いてみよう。)

平成24年度 租税教育実践例（第6学年）

登米市立東郷小学校

教諭 後藤 大典

1 単元名 社会科「わたしたちの生活と政治」

小単元名 わたしたちの願いを実現する政治～税金の働きを知ろう～

2 指導にあたって

（1）単元について

本単元の学習指導要領の内容（2）「国民生活には地方公共団体や国の政治の働きが反映していること」を受けて構成されている。ここでは、国民生活には地方公共団体や国の政治が反映していること、日本国憲法は国家の理想、天皇の地位、国民としての権利及び義務など、国家や国民生活の基本を定めていることを調査したり、資料を活用したりして調べ、我が国の政治の働きを具体的に考える活動をする。

単元の構成にあたっては、「地方公共団体や国の政治の働き」と「日本国憲法の基本的な考え方」の2つに分けて、具体的な公共施設が住民の願いのもとに作られる過程を知ることや、それらは日本国憲法という大きな柱のもとで作られていることに気付かせていく。また、国民生活と政治の結びつきについて関心をもたせ、その中で税金が果たす役割について知ることやどのような税があるかを知ることにもねらいとしている。

児童は、学習の中で税金に関わっているものに触れる機会が多いといえる。消防署や警察署、また関税についても触れている。第6学年の「日本の歴史」の中でも時代によつての税金について学んできた。ここでは、現代社会の税金の仕組みについて興味・関心を高めながら知識を培っていききたい。

3 指導の着眼

- ① 社会科の歴史や政治の学習の中で「税金」に関わる単元を意識して取り上げ、税金に触れさせながら学習に取り組ませていく。
- ② 税務署からゲストティーチャーを招いて租税教室を実施することで、税に関する専門的な知識を学び、税金についての理解をより深めていく。







4 本時の学習


（1）小単元名 「税金の働きを調べる」

（2）本時のねらい

税金が私たちの生活に重要な役割を果たしていることと、納税が私たちの大切な義務であることを理解する。

(3) 学習の流れ

	学習活動	学習の様子
つかむ5分	<p>1 本時の学習課題を確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>自分たちの生活と税金のかかわりについて考えよう</p> </div> <p>2 ゲストティーチャーを紹介する。</p>	 <p>○ゲストティーチャーの紹介。</p>
広げる	<p>3 税務署の方の話を聞き、様々な税金について考える。</p> <p>(1) 知っている税金を発表する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・消費税 ・所得税 ・自動車税 <p>(2) 世界の消費税について知る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本の消費税は5%で、世界の国々と比べて低い方だ。 ・消費税が20%の国もある。消費税の高い国は、充実して老後も安心して暮らせる。大学まで授業料が無料という国もある。 <p>4 税金の必要性について考える。</p> <p>(1) 消費税は払いたいのか、払いたくないか発表する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・税金はみんなのために必要だから払った方がいい。 ・消費税があることでお金が足りなくなるから嫌だ。 <p>(2) ビデオ「マリンとヤマトの不思議な日曜日」のDVDを視聴し、もしも税金がなくなったらどうなるかを考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ゴミが街中に散らかっていて汚くなるのは嫌だ。 ・橋が壊れても直せないのは困る。 ・火事になっても消火に多額のお金がかかってしまう。 <p>(3) 学校と税金のかかわりを考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学校に月謝があったら月7万円になるなんて驚いた。 ・学校が税金によって運営されていることがよく分かった。 ・顕微鏡や机など学校の備品は高価なものが多い。 ・税金は保護者が納めていることが分かった。 <p>(4) 1億円の量と重さを体感し、高額な金額の実感をもつ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・10kgもある。 ・考えていたよりも重い。 ・国家予算は90兆円だからすごい重さだ。 ・国民が力を合わせて納めた税金だから大切にしなければ。 	 <p>○知っている税を聞く。</p>  <p>○各国の税率について知る。</p>  <p>○税金の必要性について考える。</p>  <p>○税金のない世界に驚く児童。</p>  <p>○1億円の重みを実感する。</p>

ま と め る	<p>5 感想を発表する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今学校で使っているものを大切にしようと思った。 ・自分たちに多くの税金がかかっていることが分かった。 	 <p>○税に対する関心が高めることができた。</p>
------------------	--	--

(4) 評価

税金が自分たちの生活と密接にかかわっていることや税金の必要性について理解することができたか。

5 まとめ

- ・ 社会科の学習内容の中には、たくさんの税金に関する内容があることを確認することができた。税金の成り立ちなどを意識的に取り上げて歴史の授業を進めてきたことで、「租・調・庸」や「年貢」、「関税自主権の撤廃」などのいろいろな時代の税に対する興味・関心を高めることができ、学習内容の定着が図られた。
- ・ ゲストティーチャーによる授業を実施したことで、児童が知らなかった税金に関する内容を専門的な知識に触れることができ、税金の大切さを実感することができた。

3 学年社会科学学習指導案

指導者 東和中学校 教諭 藤 浦 悟

1 単元名 国民生活と福祉

2 単元目標

社会的事象への 関心・意欲・態度	社会的な思考・判断	資料活用の技能・表現	社会的事象についての 知識・理解
国や地方公共団体の 経済活動に対する 関心を高め、それ を意欲的に追究し、 経済活動について 考えようとしている。	国や地方公共団体が果 たしている経済的な 役割や財政について 多面的・多角的に考 察し、国や地方公共 団体の経済活動の在 り方について様々な 観点や立場から公正 に判断している。	国や地方公共団体の 経済活動に関する様 々な資料から課題に 対する情報を適切に 選択して活用すると ともに、追究し考察 した過程や結果をま とめたり、資料を根拠 にして説明したりして いる。	社会資本の整備、公 害の防止や環境の保 全、社会保障の充実、 租税の種類と意義、 役割及び国民の納税 の義務について、理 解しその知識を身に 付けている。

3 指導計画（7時間扱い）

学習時間	題 材 名
第1時(本時)	政府の経済活動と租税
第2時	政府の役割
第3時	社会保障のしくみ
第4時	少子高齢化と財政
第5時	公害の防止と環境の保全
第6時	世界の中の日本経済
第7時	経済プレゼンテーション

4 本時の指導

- (1) 題材名 政府の経済活動と租税
- (2) ねらい 政府の経済活動の役割を租税のはたらきから説明することができる。

(3) 準備物

教科書(東京書籍版), ワークシート「リンカーンカード」(別紙2), 資料集「新しい公民」(浜島書店), 「私たちの暮らしと税」, 「私たちの暮らしと税金」

(4) 学習過程(別紙1)

(5) 評価

- ① 租税をその徴収方法等から分類し、そのはたらきが理解できたか。
- ② 政府の経済活動の役割を租税のはたらきから説明できたか。

<別紙1>学習過程

段階	学習内容と活動	形態	教師の支援	評価【観点】 (方法)
導入 5分	<p>1 学習課題の把握</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> 政府の経済活動を租税のはたらきから説明できるようにしよう。 </div>	一斉	○予習課題の答え合わせをし、レディネスを確認する。	・リンカーンカードNo.52 ○課題に気づき解決意欲を持っているか。(観察)
展開 40分	<p>2 学習課題の追求</p> <p>(1) 租税の種類</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> 租税にはどんな種類があるだろう。徴税方法などから分類してみよう。 </div> <p>(2) 税金のしくみ</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> 直接税の所得税と間接税の消費税のしくみを調べよう。 </div>	一斉	(1) さまざまな税を種類別に分類させてみる。 ①徴税方法(誰が負担し納めるか) ②集める主体(どこに納めるか) (2) 間接税と直接税の違い ①消費税はなぜ間接税なのか。 ○担税者と納税者が違うことに気づかせる。 ②所得税の源泉徴収と確定申告)	・「私たちの暮らしと税」P2 『税金の種類について見てみよう』 ・「私たちの暮らしと税」P3 『税金のしくみを見てみよう』
	<p>(3) 租税の働き</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> 累進課税制度から政府の経済活動である租税の働きや役割に気づこう。 </div>	一斉	(3) 累進課税制度のしくみ ①所得税の税率を調べてみよう。 ○なぜ一律同じ税率ではないのだろう。 ○なぜ所得が多い人の税率は高いのだろう。 ②所得の再分配の意義について気づかせる。	・公民の資料P92のD 「累進課税制度」 ○所得の高い人は所得に余裕があるので、それを政府が吸い上げ、所得が低い人に分けることが政府の経済活動の中心的な働きであることに気づかせる。
	<p>3 学習課題の解決</p> <div style="border: 2px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> 政府の経済活動において、租税はどんなはたらきをしているのだろう。 </div>	グループ	3 累進課税制度が必要なわけについて話し合い発表。 ○所得が多い人から少ない人へと分配することで困っている人が助かる。 ○政府の財政で公共事業などは多額のお金がかかるので広く、本当の意味で公平に国民から租税を集めるため。 ○集めた租税を国民へのサービスに公平に使うため。	○進んで話し合いに参加しているか。(観察)
終結 5分	<p>4 まとめ</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> 今日の学習のポイントをリンカーンカードにまとめよう。 </div>	個別	○机間支援により補足や激励をしたりして、個別的な指導・援助を行う。	○本時学習課題が達成されているか。(観察) ・リンカーンカード ・ノート



3年リンカーンカードNo.52

4章-4-1・2 政府の経済活動と租税, 政府の役割

租税の種類と政府の経済活動のポイントをつかもう。

<今日の学習目標> (P130~133)

<重要語句>

◎ 直接税

- (①) 者(=税を納める人)と担税者(=税を負担する人)が一致する税金 例: 個人の所得にかかる(②) 税
企業所得にかかる(③) 税

◎ 間接税

- (④) 者と担税者が一致しない税金
例: 消費金額の(⑤) %にかかる(⑥) 税

◎ 累進課税⇒所得税, 法人税など

- 所得が多くなるほど(⑦) 率が高くなるしくみ。

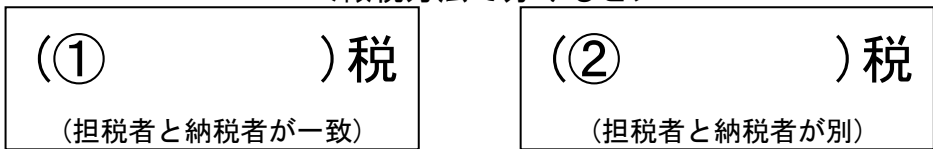
◎ 財政政策

- 政府や地方公共団体が(⑧) を調整するために行う。

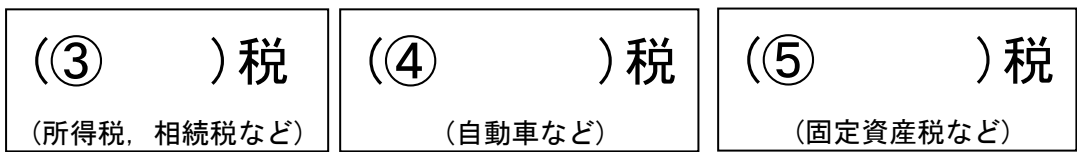
<ポイント> 政府の経済活動「租税」のはたらきを整理しよう。

1 租税の種類

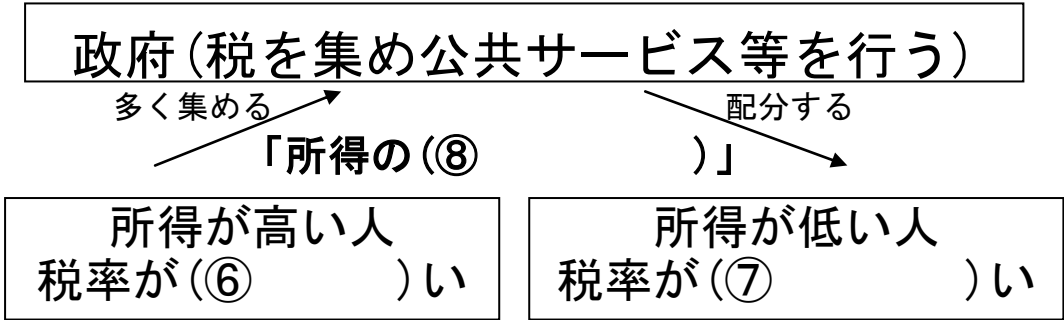
<徴税方法で分けると>



<納税先で分けると>



2 累進課税のしくみ



1 単元名 第4章わたしたちの暮らしと経済 4節「国民生活と福祉」

2 教材について

(1) 単元観

本単元は、中学校学習指導要領公民的分野の内容「(2)国民生活と経済」の「イ国民生活と福祉」に基づいている。そこでは、「国民生活と福祉の向上を図るために、国や地方公共団体が果たしている経済的な役割について考えさせる。その際、社会資本の整備、公害の防止など環境の保全、社会保障の充実、消費者の保護、租税の意義と役割及び国民の納税の義務について理解させるとともに、限られた財源の配分という観点から財政について考えさせる。」ことを主なねらいとしている。

本単元を指導する際に留意すべき点として、制度や仕組みの学習に深入りすることを避け、あらましについて理解させること。財政については、少子高齢社会など現代社会の特色を踏まえて考えさせることが挙げられている。

また、財源の確保と配分という観点から財政の役割について考えさせること、分野全体を通して、習得した知識を活用して、社会的事象について考えたことを説明させたり、自分の意見をまとめさせたりすることにより、思考力、判断力、表現力等を養うことへも留意して指導する必要がある。

(2) 生徒について

社会科の学習に対する生徒の実態は、社会的事象について興味・関心があり、しっかり生徒が多い反面、発言する生徒が少ない。

本単元の内容は、現在から将来の日本が抱える最大の問題であり、生徒たちが、社会の中心で活躍する時代には最も深刻化する問題であると考えられる。しかし、生徒の実態は、財政、社会保障制度など内容が複雑であることもあり、当事者であるという意識は低い状況である。

(3) 指導観

本単元の内容は、生徒たちが将来主権者となったときに直面する、避けられない問題についての内容である。

これらの諸問題について、主権者となる生徒達が、資料の読み取りを通して財政と社会保障の諸問題について「どう考え、どう判断するのか」という学習活動を通して自分の考えを深化させたい。

導入では、前時に学習した租税収入について復習し、時事についても触れながら本時に学習することに興味を持たせたい。展開では、財政や社会保障の諸問題を考えさせる資料を提示し、読み取らせたい。終末では、周りの意見を基に自分の意見を確立させたい。

生徒が主体的に取り組む課題を設定し、活用させることで基礎・基本の定着が図られる授業を展開していきたい。

3 単元の目標及び評価規準

(1) 目標

- ・ 国民生活と福祉の向上を図るうえでの国や地方公共団体が果たしている経済的な役割について、租税の意義と役割、納税の義務を通して理解する。
- ・ 少子高齢社会と社会保障の充実、日本経済の発展と課題など、経済上の諸課題に関心を持ち、国や地方公共団体が果たしている経済的な役割について多面的・多角的に考えることができる。
- ・ 社会保障や経済に関する課題学習において、諸資料の活用を図り、自分たちの考えをまとめ、発表できる。

(2) 評価規準

[社会的事象への関心・意欲・態度]

- ・ 国や地方公共団体の経済活動に対し関心を持ち、課題学習を意欲的に学習し、租税の意義と役割、少子高齢社会や経済上の諸課題を自らの問題として考えようとしている。

[社会的な思考・判断・表現]

- ・ 国民生活と福祉の向上を図るために、国や地方公共団体が果たしている経済的な役割について多面的・多角的に考え、さまざまな観点や立場から公正に判断している。

[資料活用の技能]

- ・ 社会保障や経済に関する課題学習において、さまざまな情報手段を用いて自分の考えをまとめたり、わかりやすく発言や発表を行ったりしている。

[社会的事象についての知識・理解]

- ・ 国民生活と福祉の向上を図るため、国や地方公共団体が果たしていることならについてのあらましを租税と財政、社会保障、公害と環境を通して理解し、その知識を身につけている。

4 単元の指導計画・評価計画（7時間扱い）

省略

5 本時の学習

(1) 指導の構想

消費税が今後増税することについて賛成か反対か自分の考えを持たせたい。考えを深化させるために2つの資料の読み取りをしっかりとさせたい。また自分の考えに他者の意見も参考にするような授業を展開したい。

(2) 言語活動について

既習事項や資料を活用し、これから訪れる諸問題について、自分の意見を持ち、周りとの意見を交流しながら思考、判断を深化させたい。

(3) 本時のねらい

- ・ 消費税についての話し合いを通して税金の役割や問題点に気づき、自分の考えを説明することができる。【思考・判断・表現】

- 消費税に興味を持ち、自分たちの身近な問題として考え課題解決に取り組むことができる。
【関心・意欲・態度】

(4) 評価規準

- ① 消費税増税について賛成か反対か資料を読み取り、自分の考えを持つことができる。

【思考・判断・表現】

- ② 消費税増税に賛成か反対か考えようとする。【関心・意欲・態度】

(5) 本時の展開

段階	過程	学習活動 ○予想される反応	形態	指導上の留意点 ◆言語活動	評価 資料等
導入 7分	課題把握・課題設定	1 前時の学習から、税金にはどんな税があったか想起させる。	一斉	・復習をし、本時とのつながりを持たせる。	・新聞記事から事実認識をしっかりとつかませる。
		2 新聞記事などから消費税増税をとらえ、本時の課題につなげる。	一斉	・資料の読み取りからキーワードとなる言葉に気づかせたい。また、いろんな税がある中で消費税に焦点を当て考えさせたい。	
		3 登米っ子班を作り、課題の確認。	班	◆学習課題をしっかりと確認する。 《記録》	
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 課題 「消費税増税に賛成か反対か、考えてみよう。」 </div>					
展開 38分	課題追求	4 課題についての自分の考えを書く。 ○将来、お金が足りなくなると思うから、増税に賛成。 ○税金が高くなると、生活が苦しくなると思うので、増税に反対。	個	・生活経験や既習事項を基に考えさせる。 ・主権者になったときに避けられない社会問題であることを補足する。	・自分の意見をノートにまとめる。 (評価①)
		5 それぞれの立場で意見交流する。	班	◆自分の考えをまとめ、説明することができる。また、周りの意見をしっかりと聞き参考になることはメモする。 《記録・要約・説明》	・2つの資料について自分の意見をまとめる。
		6 資料から国の財政上の問題や税の役割を知る。 ①新聞記事高齢者や子供の資料 ②社会保障制度に関する資料	個	◆資料の読み、自分の感想を持つ。 《記録・要約・説明》 ・消費税が上がることで低所得者の立場の人たちに気づかせたい。 ◆資料を読み取り、ポイントを要	

		7 税の役割や財政上の問題についてまとめる。	一斉	<p>約する。《要約》</p> <ul style="list-style-type: none"> 消費税を上げないと，医療や年金などの個人負担が増えることを確認する。 <ul style="list-style-type: none"> 税の特徴や財政上の問題についてまとめる。 ◆自分の考えをまとめ，発表する。《記録・要約・説明》 	<ul style="list-style-type: none"> まとめを受けて自分の考えを整理し，発表することができる。 <p>評価② (発表)</p>
終 末 5 分	ま と め	8 学習したことを振り返り，課題について自分の言葉で発表する。	一斉	<ul style="list-style-type: none"> これからの政治の動向にも目を向け，生活してことの重要性も付け加える。 次時の登米っ子学習課題を提示する。 	